

2007年12月18日(火)

AJU通巻8246号

昭和54年8月1日

第3種郵便物認可



# AJU 愛実

## 第3号

発行者：特定非営利活動法人 愛実の会



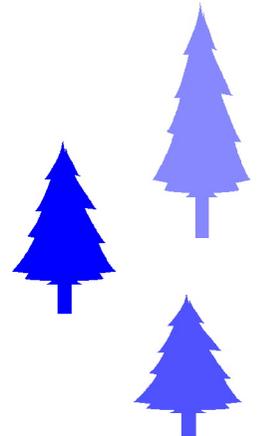
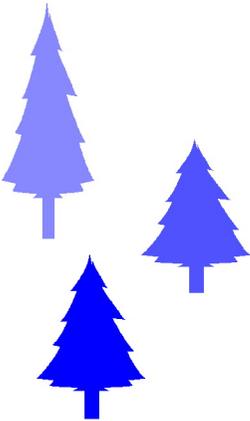
### 愛実友だちの家



### 大地の家



### 紙風船



## <事務局より>

### 全国大フォーラムに参加して（10／30～31）

障害者自立支援法が2005年10月31日衆議院で可決成立し、2006年4月1日より一部施行、同年10月1日全面施行となり、1年以上が経過しました。この間、利用者の側からお金の負担が増えた等でホームヘルプ等が利用しにくく（利用できなく）なったという声や、事業所の側から、単価が下げられた等で運営が厳しくなったという声が全国各地から上がるようになりました。

そんな状況の中、今年10月30日に障害者自立支援法の見直しを求める全国大フォーラムが東京で開催されました。参加人数目標4000人と聞いていたのですが、当日の参加者は6500人で、いかにこの法律が利用者にとっても、事業所で働く職員にとっても悪い意味で生活に大きな影響を与えているかが示されていると思います。フォーラムでは、全国各地から利用者の方の生活実態報告があり、本当にこのままではどうやって生活していったらいいかわからない旨のお話がありました。また、メイン企画として各政党のシンポジウムがあり、与党・野党で考え方や取り組みに温度差は少なくなかったのですが、このままでは問題が大きすぎるから変えなければならないという認識は一致していました。

翌31日は参加者で手分けして国会議員事務所を廻って請願をしました。何とか利用者の方や事業所の厳しい状況をより理解して頂き、国会での審議に反映させて頂きたいという願いを持って行われました。ぜひ、今後の国会の審議によって、障害当事者にとっても、ご家族にとっても、事業所で働く職員にとっても、より良い方向に進むことを願っています。

なお、上記に記載させて頂いた全国的な行動はとても大切なものですが、それと並行して各地域で、障害者自立支援法の見直しを求めるさまざまな活動が行われています。名古屋では全国行動に先立って10月2日に集会が開催されました。この場でも全国大フォーラムのときと同じく利用者の方、事業所職員の双方から深刻な状況の報告がされました。

私ども愛実の会のメンバーやアシスタントにとっても決して他人事ではないので、自分のこととして考え、活動にも参加していきたいと思います。

中森 由哉

## 「この人に聞く」

最近、障がいを持つメンバーが「自分の家族や島が倒れたら、自分の面倒は誰が見てくれるのか、心配だ～」と訴えてきました。あれ、これって、私たち障がい児の親たちがずっと悩んできた悩みじゃない～と気がつきました。「自分が死んだら、誰がこの子の世話をしてくれるのか」私も全介助の必要な娘を抱きながら、空を見上げたものでした。（もう娘はいませんが）この娘や娘の友人達のために会をはじめた時に、同じ立場のお母さんに「だから、私たちのようにこの子を大事にしてくれる社会を作りましょうよ」と自分にも言い聞かせながら言いました。あれから20年。今も、メンバーの自立は、彼らを理解し、心の底にある思いを聴き取り、彼らの自主性を尊重した援助してくれる人がいれば可能だと信じてきました。

私はナイトケアをするのが大好きです。メンバーと親しくなれますし、ご家族がどんなにご苦労しながら、メンバーを大切にしてきたかを感じるからです。そして、その人の自立への一歩に関らせて頂いているという光栄を感じます。

でも島の衰えをメンバーに心配してもらうようになり、アシスタントの人たちに引き継いでもらわなくてはなりません。アシスタントはこの働きに心を砕いてくださり、ひとりひとり援助が違うメンバーをよく理解して、見事に援助してくれています。メンバーの思いを汲み取るということは、並大抵のことではありません。だから、苦しいです。そんな時、メンバーに聞いてみます。聞くと言っても、口で応えてもらうだけではありません。全身にあふれている苦痛や喜びを汲み取る、居心地がいいか、辛くはないかと聴くのです。

方向性や自分の選択に迷う時、一つの目安にしようと考えていることがあります。グループの中で、一番声を出せない人が、居心地がよさそうかどうか、この決定によって、この人の存在は守られるかどうか、ということです。最近、私のあり方に対して、メンバーのひとりからたしなめられました。「楽な人の介助だけを選ぶな」ということでした。参りましたが、私の存在根拠をつくことだったので、初心にかえれて感謝でした。

強い人中心の社会の中で、どうしても弱者を置き去りにし、生き残ることを考えてしまう私たちは「迷ったときは最も声の小さいメンバーに聞くこと」を基本においたら、愛実の会の創設意図を守り続けられると思いました。

今年もありがとうございました。よきクリスマスと新年をお迎え下さい。

島 しづ子

2007年もあとわずかとなりました。皆さまにとって、今年はどうな年でしたでしょうか。

1、大きな変革／2007年は「愛実の会」にとって、大きな変革の年でした。一昨年に施行された「障害者自立支援法」は私たちの願い＝小さい組織で、手厚い介護とおだやかな場所を大切にしていける、という従来の運営方針を変えざるを得ないものでした。

法律の大きな問題点はデイサービスにおいて「小さな組織」を認めないという方向性が出されたことです。もちろん形の上では、小さな組織であっても問題はありません。しかし現実に支払われる補助金が削減され、明確な運営方針の目処が立たないため、私たちは利用者＝メンバーを守るため、小さな組織をあきらめました。そして、今年1月15日に特定非営利活動法人「愛実の会」(NPO愛実の会)を立ち上げ、愛実友だちの家、大地の家、紙風船という3つのデイサービスを、今年4月1日付けで合併し、生活介護(デイサービス)として再スタートしました。

## 2、NPO 愛実の会の現状

私たちは合併により、「小さな組織でありたい」という一つの願いを失いました。しかし「手厚い介護とおだやかな場所」を忘れたわけではありません。

- 利用者1名につき職員1名の体制
- トイレ・入浴介助などにおける同性介助
- 送迎の希望に沿ったリフトカー等による送迎体制
- 安心で、安全な手作りの温かい給食
- 障がい状況に応じ対応できる3つの施設(比較的軽度なケアから、看護師医療的ケア対応の施設まで)
- 施設に行く朝の準備から、帰宅後の入浴などを行う居宅介護(ホームヘルプ)
- そして何よりもメンバーの笑顔と、一人一人の声を大切にする「愛実の会」理念の実践

## 3、山積みしている問題

- 事業開始時の借入金／事業開始は4月1日ですが、報酬の入金は6月末。事業開始から3ヶ月経過後でした。本来であれば、会費や寄付金で資金を準備しておくべきでしたが、この間の各種経費は借入金でまかなってしまいました。借入金は1月末現在、約750万円として残っています。税金の支払いを考えるとなかなか返済ができずに、ご迷惑をかけています。
- 施設の改修問題／各施設大なり小なりの問題は抱えています。大きな問題は「紙風船」の建物です。倉庫として作られているため、冬季は非常に寒いのです。中でも、北側の壁はシャッターの上に板を張っただけで、断熱効果は全くありません。何とか改築したいのですが、多額の費用がかかります。
- 施設の分散化と費用／現在、デイサービスは3ヶ所に分散しています。毎月、多額の経費(月額約40万円)がかかります。また各施設間の車両・職員の移動と、管理の手間を考えると非常に効率が悪くなっています。さらに現在の各施設では、定員一杯の利用者が来られる日も多くあります。現状のままでは、これ以上の新規利用者の受け入れは困難です。
- アシスタントの待遇改善／マスコミ等でも取り上げられているとおり、介護業界における給与などの待遇は他業界に比較し、低くなっています。その中で、メンバーに対し親身になって、また遅くまで仕事に取り組むアシスタントの姿勢には頭が下がる思いです。しかしいつまでも、アシスタントの好意にばかり甘える事はできません。抜本的には国の報酬単価の引き上げしかないのですが、1対1の介護、同性介護などの質を守るために、アシスタントの待遇改善は大きな課題です。

## 4、募金のお願い

理事会では、事業開始時の借入金の返済、経営の安定化と施設改修のために皆さまのご援助を頂きたい募金をお願いしようと決意しました。どうぞよろしくご協力下さい。

NPO「愛実の会」は、社会的に弱い立場の障がいを持ったメンバーの生活を支えると同時に、メンバーの持つすばらしい笑顔＝癒しの心を大切にしていける、障がいをもった方が当たり前前に地域社会で生活できるようお手伝いしていきます。末永くこの歩みを見守ってください。

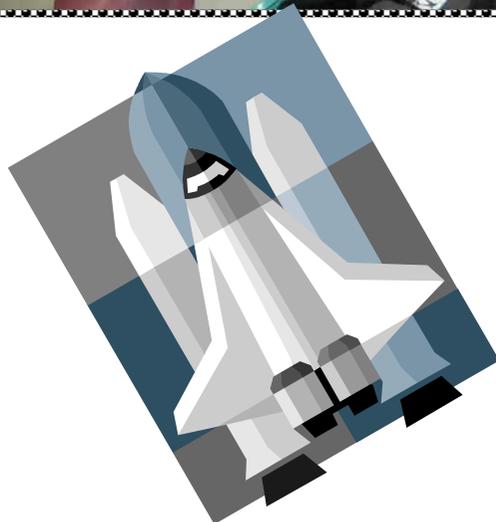
皆様もどうか心元気に過ごして下さいませよう、お祈り致します。

# 愛実友だちの家のページ

( 3~4 )

## 科学館で未知体験??

名古屋市科学館で、不思議なロボットやおもしろい仕組みを体験してきました。普段なかなか接することのない世界だったので、戸惑いを隠せないメンバーもいましたが、また行きたいね！と言いながら帰ってきました。



**月に1回  
お世話になっています！**



月に1回、茂吉さんをお迎えしてメンバーの隠れた力を引き出してもらっています。茂吉さんは言語療法士さんですが、言語に限らずいろいろなテーマでプログラムを作っています。

今年度のテーマは愛実友だちの家年間目標に

ぴったりの『**感触**』！！

様々な素材を使ってメンバーの手や足が、ふ〜っと広がって、ぴた〜っと感触を楽しめるよう、いつも面白いものがないか、どこに行っても目を光らせてくださっているそうです。



大好評！！  
愛実謹製  
エコバッグ！！



11月11日（日）に熱田区生涯学習センターで開催された「あったかあつた福祉フェスタ 2007」での愛実の会ブースに**愛実謹製エコバッグ**が登場。

ナイロンバッグに染色用絵の具で絵を描いたり、今までに描いた作品をコットンバッグにアイロンプリントしたり、真心をこめて作りました。

おかげさまで大好評！！ほぼ完売の売れ行きとなりました。これでノーレジ袋の輪がますます広がっていくと嬉しいですね。

# ★大地の家のページ★

(P 5~6)

## 東山に紅葉狩りに行ってきました♪



11月30日(金)東山動植物園に紅葉狩りに行ってきました。前日までは雨が降り、気温も低く「本当に紅葉狩りに行けるのだろうか…」と不安でいっぱいでしたが、当日は快晴で心地よいくらい暖かく、まさに紅葉狩り日和な一日でした。

今回は、午前中に動物園を見て、たっぷり昼食をとった後、植物園での紅葉狩りとなりました。

動物園では、行く前から「動物が怖い」と不安がっていたメンバーも、現地に着くとそんなこと気にもならな

かったかのように、クマ舎の柵近くまで寄って、まじまじとクマを見たり、コアラが見たいと言ってコアラ舎の一番前を陣取ったりして動物に興味津々でした。しかし、中には動物には全く目もくれず、食事を一番の楽しみにしていた方もいましたが…。



午後にはメインの紅葉狩りをすべく植物園に向かいました。門をくぐってみても紅葉の姿は見えず、期待外れだったのだろうかとがっかりしましたが、小路を歩いていくと、そこには紅葉のトンネルがありました。赤、黄、茶色の木々たちが枝を張り合っていて、まさに絶景でした。紅葉の葉っぱを拾ったり、枝を袂に手繰り寄せて葉っぱを見てみたり、もちろん遠くまできれいに彩った紅葉を

眺めたりして、それぞれの方法で紅葉狩りを楽しみました。



## 授産活動 ★福祉フェスタで販売★

今年度は授産活動を月に2回ほど行い、11月に催される「あったか・あつた・福祉フェスタ」にて授産製品の販売を行なうこととなりました。

これまでに日中活動の一環として、給食調理時に出た廃油を使っての固形せっけん・プリン石鹸作り、大きな織機を使ってコツコツ頑張ってさをり織などに挑戦してきました。



また、メンバーがこれまでに描きためてきた作品の中からいくつかの絵を選び、生成りのトートバッグにプリントし、「エコバッグ」として販売もしました。

販売を始めて、多くの方に来ていただきましたが、なかなか売りに繋がることがなく、かなりの苦勞を強いられました。その中でも多くの方に「プリンせっけんって何？」と聞かれることがありました。丁寧に説明を重

ねると、良さを理解してもらうことができ、まとめ買いをして下さった方もみえました。

初めての取組みで、なかなか大変でしたが学んだことも多く、次年度の取組みに活かしていきたいと思いました。そして、来年こそは完売を目指してみんなでがんばって販売したいと思います。



# 紙風船のページ

(P7~11)

## 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」 ジャスコ名古屋みなと店様より寄贈していただきました！

4月から8月にかけて毎月1日に店内にてイエローレシートキャンペーンの呼びかけをしてきました。レシートの総額がなんと3,656,744円！その1%の金額の商品を寄贈して頂けるということで、紙風船では人形劇の公演用のMDデッキ・人形ケース・室内マット・足浴バケツなど。愛実友だちの家では食器を頂きました！今後、人形劇や活動でも大活躍していきそうです！本当にありがとうございました。また今後も引き続きイエローレシートキャンペーンの呼びかけを行っていきます。ご協力よろしくお願いたします！！



## 施設見学 ～あしたの丘～



10月18日（木）

天白区にあるあしたの丘へ施設見学に行ってきました！とても急な傾斜の上に立つ建物にみんなびっくり！施設内を見学させてもらい、ポッチャやカローリングという遊びを体験させていただきました。今回の見学で一番驚き感激したことは、あしたの丘の給食システム。バイキング形式で、種類も豊富！「食事」という楽しみを存分に味わってほしいという施設の考えがとてもいいなあと思いました。交流会では、紙風船の映像がうまく流れず残念でしたが、施設の方たちと一緒にお茶を飲みながら交流しあえた事とても嬉しかったです！

## 🎵 名古屋フィルハーモニー福祉コンサート 🎵



11月22日（木）

「夢いっぱいの特等席」福祉コンサートへ愛実友だちの家・紙風船合同で行ってきました。会場はセンチュリーホール。広い会場に響く、きれいな楽器の音色に、みんな表情が和らぎ、音楽に合わせて歌ったり、体を動かしたりととても楽しい時間を過ごしました。

## 紙風船月一会、毎月行っています！

9月から始めた紙風船月一会。色んなテーマをみんなでだしあい、テーマに沿って話をしていきます。例えば自立や自己実現・紙風船のこれからの夢など…。これからもボランティアの皆さんにもっと声をかけて、みんなでたくさん楽しいことや夢のあること、自分たちのことなど、お互いの気持ちを確かめ合える場になっていくといいなと思います！



## 他にもいろいろな活動をしています！

ハガキづくりを  
始めました！



仲間たちが興味のあること、やってみたいことに個々に取り組んでみようとはじめたのが「個別活動」。例えば、カメラで写真をとってみたり、ビーズで小物を作ってみたり、得意の絵を描く事に取り組んだり…。これからゆっくりのペースでみんなといろいろな事に挑戦していきたいです。



個別活動

牛乳パックから作っています！何度も試してだいぶ大夫上達してきました！紙風船オリジナル商品にするために現在思案中です…

## ☆ 紙風船ボ～年会 ☆



1部は紙風船にてカラオケやゲームでワイワイ☆  
2部は大府のあいち健康プラザにてお泊り！  
とっても楽しいボ～年会でした！来年もみんなで紙風船を盛り上げていきましょう☆

<あしがき>

寒くなってきましたね。名桜祭での公演や緑区での公演も無事に終わりました。紙風船は、12月も公演、クリスマス会、忘年会と行事いっぱいです！皆さんも風邪をひかないよう今年を乗り切りましょう！

鈴木重利

## <メンバーの思い>

### 「紙風船に来て」

櫻井 直人

10月から紙風船に行き始めて、早2ヶ月になる。最初は行けるかどうか不安もあった。けど、メンバーみんなが温かく迎えてくれて、過ごしてるうちに、そんな不安はいつのまにかなくなっていて、今はすごく楽しく過ごしています。

関係のない話になるかもしれませんが、ぼくは中日ドラゴンズの大ファンである。

紙風船に通うようになってから、ドラゴンズはリーグ優勝は逃したもののクライマックスシリーズを勝ち抜いて、日本シリーズに進んで、53年ぶりに日本一に輝いている。さらにアジアシリーズも優勝に輝いた。すごくうれしかった。勝手に思っていることだが、ぼくが紙風船に行き始めたから、ドラゴンズが勝ったと思っている(笑)。話が逸れてしまいましたが、紙風船に来て本当によかった。これからも、少しでも紙風船の役に立てればと思っています。

そして、自分自身、紙風船との出会いをきっかけに少しでも成長できるようにマイペースにがんばっていきたいです。これからもよろしくお願ひします。

## <協力者の思い>

### 「たからもの」

矢野 良太

紙風船との出会いは運命でした。高校の時、大学進学を断念した僕は最初は当時バイトしていたホームヘルパーを続けながら通信制大学に行くか、バイトをしながらお金を貯めて四年制の大学に行くかを考え、就職する気はありませんでした。

しかし周りの助言もあり『進学する事が前提でも社会に出るべきだ』と言われ、急遽、春からの就職先を捜し始めました。

いくつかの施設に見学に行き、どこで働くか考えていた時、母が友人から紙風船を紹介され、僕に教えてくれました。

【車椅子の人が人形劇をしている人形劇団】と聞き、芝居に関心のあった僕はすごく興味を持ち、見学に行き…気がいたら紙風船の一員になっていました(笑)

紙風船はとてもあたたかく僕を迎えてくれて、若くて社会を知らない僕を成長させてくれました。僕も紙風船に来て、介護現場を経験でき、学びたい事を見つけ、将来についてより考えるようになりました。何より知的障がいを持つ妹を将来世話できるようになれば、みたいな理由で福祉をやろうと思った僕には、車椅子の方と関わった事はとてもいい経験になりました。紙風船のみんなは他にはないオーラを持っていて、とても明るくて楽しい時間を過ごせました。

今回、大学に合格し、来年からまた新しい環境でがんばっていきます。僕にとって紙風船のみんなとの出会いは『一生の宝物』です。

これからもどんな形であれ紙風船の活動に関わっていきたいと思います。

・・・文堅いっ!!笑

# 豊かな自分づくりへの進路指導をめざして

南 寿 樹

残暑が長引き、ようやく紅葉が始まった11月中旬のある晴れた日。わたしは、岐阜県の中津川へ出張した。(4 kmだけど歩いていってみようかな) そんなふうに見えるのは、小春日和だったこともあるが、なにより空気が澄んでいて所々民家が点在する里山の風景がすてきだったからだ。目的地の「飛翔の里」は、田んぼの中にあり、見渡せば遠く色とりどりの山に囲まれていた。コンピューター制御のミシンを導入して障害の重い仲間の能力に合わせた作業を工夫していることで有名だ。この日も広い駐車場に県外からの見学ツアーのバスが2台来ていた。そこに私が担任しているまさる(高2)が一週間の現場実習に通っており、この日が最終日であった。——まさるは実家が中津川にある。慢性の皮膚疾患で医療行為が必要なため地元中学校卒業を機に、「あいち小児保健医療総合センター」に長期入院となり、そこから大府養護学校に通うようになって1年半。卒業後はこの中津川に帰るのだ。

「お世話になりました」と職員さんにあいさつしているわたしの横を、まさるが車いすを職員さんに押ししてもらいながら「あっ、先生、来たの？ちょっと待ってて」とせわしなく事務室の奥へ入っていった。「忙しそうだな…」と思ったが、後から聞くとこの日同じく実習を終える実習生への寄せ書きをこっそり書くため急いでいたようである。職員さんと顔を見合わせて笑い合う笑顔が輝いていて、嬉しくなった。

「先生、ぼくね進路先はここに決めた。楽勝だて」というまさる。しかし私は「よかったね。でもまだ時間はあるから、いろいろなところを自分の目で見てゆっくり考えてから、決めた方がいいよ」とかれの出鼻をくじくような言葉を返した。

この夏休みにクラスの他の二人の生徒とも共に、進路として可能性のある施設を見学してまわった。半田市に住むさちは5施設、岡崎市に住むりょうたは4施設。

「進路を決めていく主体は本人であるが、自分としてはいろいろ見聞を広めて選択肢を多くし、判断する材料を豊かにしてあげたい」という思いがあったからだ。だが今になって、まだ考えが浅いのではないかと思いつつようになった。

宮本延春氏(著書「オール1の落ちこぼれ、教師になる」)の講演会での次のような話を思い出したからだ。「座標軸のあるクモの巣グラフをイメージしたとき、それまでの自分は原点0の周りのごく狭い世界にいたが、自分が本当にやりたいものは、そこからずっと離れているところにあった」——彼は、九九が言えず、漢字で書けるのは自分の名前だけだったが、23歳のときにNHKスペシャル「アインシュタイン・ロマン」に感銘を受け、物理学への道をめざして名古屋大学に進学し、夢を実現させた。——これまで知らなかった人や文化に出会い、狭い世界を広げる中で自分を見つめ、社会とつながる自分らしい生き方を追求していくこと。それは本来の「学び」そのものだが、それを支援するのが進路指導ではないか！たかが数カ所の施設を見学し、実習することが進路指導ではない！生活の中での新しい出会いや発見がすべて自分づくりにつながる…

「かけがえのない君の人生。ゆっくり時間をかけて自分づくりをしていこうよ」

誰にでも無限の可能性があると伝えたい！



# 賛助会員の皆様へ



## 【特定非営利活動法人愛実の会】

正会員会費	年間3,000円以上		
賛助会費	年額	1□ 1,000円	(何□でも結構です)
土地建物取得		1□ 1,000円	(        〃        )
紙風船夢づくり		1□ 1,000円	(        〃        )

振替口座 00870-3-104866 「愛実の会」  
同封の払込用紙をご利用いただければ、振込み料はかかりません。

### <正会員会費>

「NPO愛実の会」の活動にいろいろな形で応援していただく方をお願いしています。総会議決権がありますので、別途申込書をお送りします。

### <賛助会費>

正会員と同様ですが、総会議決権はありません。

### <土地建物取得資金>

将来、「NPO愛実の会」の土地建物取得費用に充当します。

### <紙風船夢づくり基金>

紙風船の仲間たちが人形劇の活動を充実させ、発展させていくために必要な費用です。人形劇を行うには人形制作費や遠方での公演活動費など様々な経費が必要となります。人形劇活動をはじめ、その他紙風船の活動をゆたかにしていくための費用として活用させていただきます。紙風船の人形劇活動にご賛同頂ける方は、よろしくお願ひいたします。

## 2007年4月～12月 紙風船賛助会員新規・継続者 寄付者

### <新規賛助会員>

潮田 則行様      戸田 伊助様      橋口 洋様      橋口 恵美子様

### <継続賛助会員>

関谷 たか子様      石井 昌也様      早川 教示様      浜島 一史様      加藤 百代様  
市野 ちづ様      松浦 孝夫様      盛 紫寿子様      佐藤 邦甫様      竹内 淳子様  
山口 綾子様      永井 猛様      中尾みつる様

### <寄 付 >

小野 孝児様      福田 和子様      岸野 奈奈子様

### <募金箱協力店>

ろばた焼きいろり様      喫茶YUMEYA様      喫茶E様      山忠酒店様      京枝屋様  
兎月様      ファミ-マ-ト様

その他物品やテレカ・古切手・アルミ缶の回収等多くの方にご協力いただいています。  
本当にありがとうございます。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。

### ※紙風船の賛助会員の皆様へ

今号より、「紙風船」の口座が「愛実の会」と統一されます。今までの「紙風船」の口座も継続は致しておりますが、今後紙風船の人形劇活動をご支援していただける際には、「紙風船夢づくり」へご協力お願ひいたします。紙風船の賛助会員の皆様には、口座に関して度重なる変更申し訳ありません。今後とも皆様の温かいご支援よろしくお願ひいたします。

# ボランティアさん大募集

- ★仲間達と一緒に活動して下さる方
- ★食事を作って下さる方など随時募集しています。

興味のある方は、ぜひご連絡ください！！

## イエローレシートキャンペーン実施中

毎月11日「イオン・デー」に開催される『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』に愛実の会も参加しています。  
現在港ジャスコベイシティ様とイオン千種店様にボックスを設置させていただいています。  
ぜひ、ご来店の際はご協力よろしくお願ひします。

### <連絡先>

<p><b>特定非営利活動法人愛実の会 事務局</b> <b>居宅介護事業所 あみ</b></p> <p>〒456-0034 熱田区伝馬1-8-1 エスポアール伝馬201 TEL 052-700-1120 FAX 052-700-2383 e-mail npo-aminokai@sf.commufa.jp</p>	<p><b>大地の家</b></p> <p>〒456-0034 熱田区伝馬2丁目28-14 「名古屋働く人の家」内 TEL 052-681-6488</p>
<p><b>紙 風 船</b></p> <p>〒457-0845 南区観音町5-109 TEL/FAX 052-694-5458 e-mail ami_kamifuusen@yahoo.co.jp</p>	<p><b>愛実友だちの家</b></p> <p>〒456-0057 熱田区五番町18-29 TEL/FAX 052-651-5953 e-mail aminokai@nifty.com</p>

### 【編集後記】

いよいよ本格的に寒い冬の季節がやってきました。  
皆さんいかがお過ごしでしょうか。愛実の会ではクリスマス会に忘年会など、寒さも吹き飛ばしてしまいそうなほど楽しい行事が盛りだくさんです。今年も早い事に残りあとわずか。一日一日を大切にメンバーと過ごしていきたいと思ひます。

皆さんもどうかお体には気をつけて、元気に新しい年を迎えましょう！

林 智恵